資料２

地域コミュニティの維持・強化に向けた担い手の確保について

１　地域コミュニティの現状・背景

○　地域におけるつながりの希薄化に伴う新規加入者の減少や役員の高齢化等により、町内自治会などの地縁団体の担い手不足※[1]が深刻化しており、NPO 等の市民活動団体でも同様の課題※[2]を抱えている団体が多い。

○　担い手不足が進行すると、これまで実施していた活動内容を縮小せざるを得なくなるなど、継続的な活動が困難になり、地域の防災・防犯機能の低下、生活環境の悪化、地域文化の衰退等、様々な面で問題が生じると考えられる。

○　一方で、災害などの非常時の助け合いやこども・高齢者の見守りなど、地域を基盤とした地域コミュニティの大切さが改めて認識されている。

○　将来にわたり持続可能な地域コミュニティを維持・強化していくためにも、担い手の確保に取り組んでいきたい。

【参考資料】

※[1] 持続可能な自治会活動に向けた男女共同参画の推進について（平成 29 年 3 月）（内閣府）	※[2] 令和 2 年度 特定非営利活動法人に関する実態調査 報告書（内閣府）
【回答した市区町村が挙げた自治会の課題】 1 位　役員・運営の担い手不足　：86.1% 2 位　役員の高齢化　：82.8% 3 位　近所付き合いの希薄化　：59.2%	【NPO 法人の抱える課題】 1 位　人材の確保や教育：62.0% 2 位　後継者の不足：43.8% 3 位　収入源の多様化：42.9%

２　ご意見をいただきたいこと

（１）潜在的に地域活動への参加意向がある人材を発掘し、地域活動へつなげる取組みについて

（２）若者や現役世代に地域活動への関心を持たせるための取組みについて

３　地域の担い手確保に向けた市の取組み

（１）町内自治会の加入促進等

・宅建協会千葉支部宛に加入促進チラシの送付
・市民総合窓口課において千葉市転入者へ加入促進チラシを配布
・大学の新入生ガイダンスで町内自治会の活動と加入について説明
・町内自治会の活動に関するＷＥＢアンケートの実施
・負担軽減に向けた町内自治会への市からの依頼業務調査の実施・・・等

（２）地域運営委員会の設置促進

小学校区や中学校区などの地域で活動する町内自治会等の様々な団体で構成され、住民同士の助け合いと支え合いによる地域運営を持続可能なものとする体制づくりを進めるための組織。

〇市の支援

・（人材）地域担当職員の配置
・（お金）補助金の交付
・（場所）公共施設の優先予約及び公共施設余裕空間の活用

〇設立のメリット

・団体間の連携・協力促進
　→他団体との連携による負担軽減や事業の活性化
・地域資源の活用
　→人材・資金・ノウハウなどを団体間で共有可能
・自由度（柔軟性）の向上
　→統合補助金による補助金の資金配分の柔軟性向上

〇設立数

１８地区（令和４年７月末現在）

（３）若い世代の地域活動への参加促進に向けたワークショップ（開催予定）

〇目的

持続可能な地域コミュニティ実現のため、特に、若者目線での課題検討と課題解決に向け、若者の社会参加・地域参加のすそ野を広げるべく、町内自治会の会員や未加入者などで、立場や年齢、ライフスタイルの異なる市民から広く意見を聴取し、地域活動の継続、活性化を図る。

〇概要

若い世代の視点で、地域活動の課題や参加しやすくするための方法、アイデアを集めるため、ワークショップを開催するもの。

（４）町内自治会とＮＰＯ等のマッチング交流会（開催予定）

〇目的

多様な主体の連携により、将来にわたり持続可能な地域運営を実現するため、これまで関わる機会が少なかった町内自治会とＮＰＯ等の連携を進める。

〇概要

連携に向けた体制づくりにおいては、相互理解が不可欠であることから、町内自治会とＮＰＯ等がお互いの活動内容や特定のテーマについて話し合う「交流会」を開催するもの。